



発行所  
安芸郡芸西村  
芸西病院  
TEL 0887(33)3833

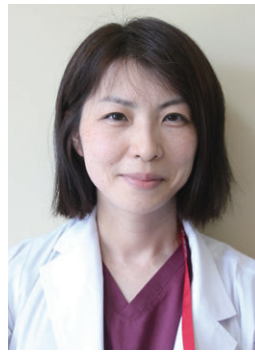
発行責任者  
岩村 久  
<http://okura-kai.com/geisei/>



# 新任のあいさつ

精神科医師

## 大崎 千栄



2021年4月より赴任

しました大崎千栄です。芸西病院は、私が大学医局へ入局してすぐの2年間、週1回外勤先としてお世話になって以来、久々になりました。久しぶりに病棟・外来へ顔を出してみますと、以前一緒に働いたことのある見知ったスタッフの方々も多くて、ほっとしましたし嬉しくなりました。

今回、芸西病院へ赴任する前は、大学勤務が長くなっていたため、どうしても特定の疾患・治療に携わることが増えていました。芸

西病院では身体疾患の治療も含めて幅広い対応を求められることも多く、心機一転、皆さんに助けをいただながら毎日励んでいます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

さて、ここからは私自身のことを自由に書いてみます、少々お付き合いいただけければ幸いです。ほぼ高知出身、高知大学卒業のため、人生のほとんどを高知で過ごしています。(コロナの影響でしばらく実現できていませんが)もともと旅行が好きで、休みがあれば、県内・県外を問わず出かけ、その土地の美味しいお酒、ごはんを食べることが楽しみでした。体力不足を少しでも改善したいと参加し始めた(短距離の)マラソン

やウォーキングイベントも、完走したあとでももらえるお弁当は格別おいしく、また、参加賞の特産品なども、嬉しいものでした。自身の体力と相談しながら少しずつと参加しております。

「とりあえず完走できなかったらいい」という、ゆったりとした気持ちでの参加。私よりも長距離コースのゼッケンをつけた参加者が隣を軽やかに走り抜けていく、ということもしばしば。そのきれいな走りを間近で拝ませていただけののも、気持ちがいいものでした。(私もいつかあんなふうになんかと思いつながら、なかなか現実には、距離は延びません。)山、川、海など、自然いっぱいの会場が多く、その中を走ることで、疲れた身体

もリフレッシュできたものです。

今は、コロナ感染拡大の影響で、職場と自宅との往復のみということも増えました。近くにいても、なかなか家族や友人に会いに行けないという、人との距離がぐんと遠く感じるようになったものです。患者さんの生活への支障も大きく、診察の場で、つらい状況をお聞きすることもあります。一日も早くコロナが終息し、平穏な日々が戻るのを願うばかりです。



### 外来診察担当医

令和3年7月1日

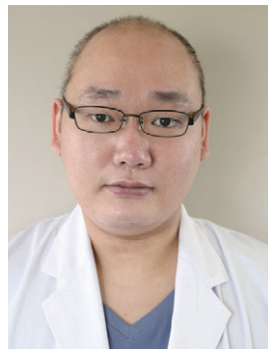
内科	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
山崎(第1)	岩崎(第3)	山崎	八木	清藤(第1・3)	山崎	八木	大西(第1)	山崎	山崎	山崎	麻生	休診
				八木(第2・4・5)								
大崎	岩村	岩村	岩村	藤戸良輔	大崎	廣瀬	廣瀬	清水	清水	廣瀬	村上	休診
											高橋(第4)	交代制(第5)

芸西病院

# 新任のあいさつ

精神科医師

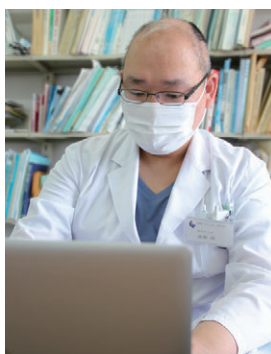
廣瀬陽



皆様、はじめまして。令和3年4月から勤務をしております廣瀬陽と申します。3月まで勤務されていた三宅先生の後任として高知市内の藤戸病院から赴任いたしました。たまたま姉妹病院の間で異動となりましたが所属は高知大学です。木曜日の午前・午後と第1・第3土曜日の午前中の外来を担当しております。簡単ではありますが私の略歴を紹介させていただきます。生まれは岡山県ですが親の転勤で中四国を転々として、どここの出身である、という感覚は正直なところあまりありません。香川県丸亀市の大手前高校を卒業後、高知大学医学部に入学、卒業は大学付属病院で研修を受けました。入学当初は岡山県に戻るともりでしたのですが、大学

6年と卒業後2年と長く住んでいるうちに高知県に愛着も湧き、岡山に「帰る」と言えるほどの帰属意識もないのでお世話になった高知県で働く事に致しました。

高知県といえばカツオのたたきと坂本龍馬しか知らなかったのですが、住んでみると生活の豊かさに驚きました。高知といえばお酒の国ですが地域ごとに、ひよっとすると町ごとに酒蔵があり、それぞれ特色豊かなお酒が揃っています。全国的に日本酒といえれば東北が有名ですが、私個人としては高知のお酒の方が味も質も勝っていると思えます。そして魚の種類の豊富さと新鮮さにも驚きました。鯉一つとっても県外で食べる鯉と県内で食べる鯉では鮮度に雲泥の差があります。他にも川海苔、テナガエビ、ウツボ、金目鯛、芋けんぴ、フルーツトマト、ナス、オクラ、ニラ、生姜、シカ肉などのジビエ…。高知県には数多くの美味しい食材があふれています。それは自然豊かで温暖な事に



加え、生産者の丁寧な仕事の賜物です。私は車で移動するより自転車や徒歩の方が好きなのですが、その度に感心するのは田畑や水路、港の施設といった生業の場所が今まで住んだ土地の中で一番綺麗に整えられている事、道具の扱いが丁寧な事です。高知の美味しさの秘密はこの仕事ぶりにあるのだと思います。丁寧な仕事の結果につながるのとはどの仕事も同じだと思います。私はまだまだ若輩で知識も技術も未熟ですが指導に当たってくださいる先輩方やスタッフ、そして患者さんに恩返しができるように精進していく所存です。不慣れなところも多々あり、皆様にご迷惑をおかけする事もあるかもしれませんが今後とも何卒よろしくお願いいたします。

## テーマ…災害に備える〜シエイクアウト訓練〜

看護部長 角谷 広子

シエイクアウト訓練は、2008年アメリカで災害訓練の一つとして始まり、現在は、高知県を含めて多くの自治体でも9月の防災の日に合わせて、シエイクアウト訓練への参加を呼びかけています。また、小学校や保育園等でも、「地震が来たら『ダンゴ虫ポーズ』を取りましよう」と、防災教育にも取り入れられています。皆様の中にも、地域防災や職場でやっていますという方は多いかと存じます。



当院では地震対策を考える会が主体となつて令和2年度に初めて導入し、11月19日と3月25日の2回、入院患者さんと一緒に行いました。緊急地震速報でお馴染みの「ポヨポヨーン ポヨポヨーン」の音の後に「ガタガタ、カチャン、ズズズン」という地震発生時の揺れに伴う音響と共に、職員も患者さんも一斉に「姿勢を低くしやがむ」頭を守る「じつと動かない」のポーズを取りました。その後、職員は各部署で火災発生の有無を確認し、建物の被災状況やケガ人の状況把握に分かれて調べて、対策本部まで報告するという流れで行いました。

それほど複雑な訓練ではありませんが、いざ実施すると対策本部で報告の長蛇が出来てしまい、3月はシステムを見直して改善をみましたが、これは、今後も毎年シナリオを少しずつ本番に近づけて実施しなければと痛感した次第です。そして、回を重ねるごとに職員のチームワークの向上を図り、来る南海トラフに備えていきたいと考えています。

勢を低くしやがむ「頭を守る」「じつと動かない」のポーズを取りました。その



# 新人研修を終えて



今年も新しい仲間を当法人に迎えることができました。4/15(木)ー17(土)、理事長、院長はじめ各部署の所属長よりの様々な新人研修は二日半に及びました。社会に初めて足を踏み出す社会人1年生、かたや様々な経験を積んで当法人に入職された方と新人職員の経歴は様々ですが、研修を通じて沢山の気づきや学びがあつたのではないかと思います。



本来であれば法人施設内を見て回ったり、新人職員同士の活発なディベートやディスカッションがあつたり、精神デイケア利用者さんとのスポーツなど盛りだくさんの研修のはずなのですが、昨年同様コロナ対策のために縮小して行わなければならなかつたのは残念でした。

この研修を通して、職域を越えてのチーム医療の大切さや自らの役割、それらを考え、学び、法人内で活躍して頂きたいと思えます。ここでは4名の感想をご紹介します。



**新人研修**  
2B病棟 看護師  
**公文 翔子**

今年の新人職員研修も新型コロナウイルスのウィルスの影響でレクリエーションなどはなく、対面での研修だけでしたが、



内容の濃い研修だったと感じます。一日目はおくら会の方針や医療情勢などの説明を受け、二日目は各部署の役割や連携を紹介してもらいました。最終日には、藤戸良輔理事長から芸西病院設立の歴史やおくら会の理念について、接遇マナーについて説明を受けました。その中でも私は、接遇マナーの講義が印象に残っています。私たち医療スタッフの態度や言動一つで患者さんが不快な思いをしてしまうことを改めて実感しました。日々の業



私たちの仕事は...2  
色々な法律や社会・職場の規範の遵守  
医療法  
医師法・薬剤師法・保健師法  
医療従事者法・介護保険法  
精神保健福祉法  
個人情報保護法 等  
職場のルールや社会規範  
挨拶をする・適切な言葉使いをする etc

務の中での自分の言葉遣いや態度がおざなりにならないよう、気を付けたと思います。入職したばかりでまだまだ覚えることもたくさんあり大変な日々ですが、今回学んだ接遇マナーを忘れず、日々患者さんと接していけたらと思います。まだまだ不安なことは多々ありますが、日々、精神科看護について考え勉強し、看護師として、一人の人間として、成長していきたいと思えます。

**新人研修感想**  
A病棟 看護師  
**岡村 知美**



私は今回4/15~4/17までの新人研修に参加させて頂きました。1月よりこ

の病院で勤務させて頂いていますが、知らない事も多く精神科領域についてもっともつと思える3日間でした。元々私は急性期の病院で学校卒業後から勤務しておりその中で急性期を脱したあとの患者様と関わる機会がなく長期療養について学びたいという思いがあり、今回機会があり芸西病院で勤務させて頂くことになりました。私の中で精神科領域と言うのは少し怖いイメージがあり少し踏み込むのには勇気が必要でしたが、今回の研修を受け、もっともつと深く患者様と関わりを持ち一人一人に寄り添い、共に考えを共有していけるようになりたいと思っております。



急性期とは違う慢性期のギャップにまだまだ戸惑いはありますが、今まで自分が学んできた知識・技術と新たに吸収する精神科及び長期療養領域で得られた知識を活かせるように頑張っています。

### 新人研修を終えて

リハビリテーション部  
作業療法士 畠中 佳乃



今年4月に入職し、4月15日～17日の2日半新人研修に参加させて頂きました。新型コロナウイルス感染症の影響で、グループワークやレクリエーション等は中止となってしまいました。が、充実した研修となりました。

1日目は、おくら会の経



営方針、医療安全管理、精神科医療の動向などの説明を受けました。ヒューマンエラー防止のために一人で抱え込まず周囲に相談することの重要性を学びました。

2日目は、おくら会の施設や各部署の役割、連携の取り方について説明を受け、業務での些細な事でも複数の部署と連携し医療を提供することの大切さを学びました。

最終日は、前半に藤戸良輔理事長から、芸西病院設立の歴史、おくら会の理念の説明を受けました。後半は接遇マナーについて説明を受けました。藤戸せつ前理事長の『閉鎖的な病棟にはしない』という強い意志で芸西病院を設立されたということが強く印象に残っています。

ています。私も患者様のことを思い、行動することのできるセラピストに成長していきたいと感じました。

### 新人研修

一階病棟 看護補助  
小松 由依



今年の新人研修では新型コロナウイルスのことがあり、縮小された新人研修でした。会話をすることもマスクをつけたまま、レクリエーションもなく、院内を回ることも出来ませんでした。



ですが、その中にも楽しみがありました。それはお弁当です。3日間のすべてのお弁当がとても美味しかったです。その中でも3日目に食べたお弁当がとても美味しかったです。見たことのない野菜をソースに使っていたり、スープ

### 看護師 准看護師 介護福祉士 ヘルパー2級



☆院内研修が充実しており、未経験の方も歓迎です。

☆24時間院内保育もあり、子育てしながら勤務可能。

☆勤務は2交代制で、働きやすい環境が整っています。

☆高齢者ケア、精神科看護、地域保健福祉に関心のある意欲的な方、応募をお待ちしています。



芸西病院だよりがインターネットでも読めるようになりました。



当院のホームページ内に、新しく「芸西病院だより」のページを設置いたしました。WEBでも芸西病院だよりをお楽しみください。





芸西村内医療機関の医療従事者対象のコロナワクチン接種に引き続き、芸西村役場からの依頼を受けて当院では5月24日よりコロナワクチン接種を行っています。

65歳以上の方への接種に引き続き、基礎疾患のある方や64歳以下の一般の村民の皆様への接種をさせて頂く予定です（今後の接種予定、日程等につきましては芸西村役場からのお知らせをご確認ください）。



# 芸西村民の「コロナワクチン接種を行います」

おくら会コロナワクチン接種チーム

外来診察の患者さんとの密を避けるために、受付は病院リハビリ棟の前にて行います。

接種会場は外来ですが、通常の外来とはブースを分けて待機場所を確保し、医師の問診後その場で接種が行えるよう移動や待ち時間の少ない導線としました。



接種後15〜30分待機の間も看護師等が常に接種会場に居て、ご質問をお受けしたり接種後の皆様の様子を確認させて頂きながら、接種後の副反応など急な体調の変化にも対応できる体制を取っております。

6月末現在、当院では約300名の65歳以上の村民の皆様の接種（2回接種）が無事に終りました。また、入院患者さんにも接種をさせて頂いて



暑いところですが、暑くなつてまいりました。次々と出てくる変異株など接種が終わっても予断の許さぬコロナウイルスとの戦いはまだしばらく続きます。熱中症に気をつけながら引き続きの感染対策をお願いいたします。

## みずき研究大会 中止のお知らせ

十月二十三日（土）に開催を予定していましたが、新型コロナウイルスへの感染防止、健康・安全の確保を最優先に考えた結果、中止といたします。

## リレーエッセイ No.66 「私の夏」

薬局助手 岡本 牧子

皆さんは夏と言えば何を思い浮かべますか？私にはもちろん「よさこい」です。そう断言できるほどよさこいが好きで、今では趣味の一つでもあります。

4年前、友人の誘いで始めたよさこいですが、1週間のうち6日は練習、ハードな筋トレ、日曜日も13時から21時まで練習など、社会人しながらこのスケジュールが約2カ月は大変だと感じ、この参加で一度きりにしておこうと思っていました。しかし本番で踊った時の楽しさにハマってしまいました。沿道のお客さんからの応援や審査員からメダルを頂いたり、チームで踊りきった時の達成感など、よさこいならではの楽しさを知ることが出来たからです。

現在のよさこいは本来の踊りや曲から大きく離れたものが多く、苦手意識を持つ方もおられます。私もその一人でしたが、チームによっては本来のよさこい節や振り付けが組み込まれていたり伝統を大事にしているんだなと関心を持つようになりました。それぞれのチームがそれぞれの曲や振り付けで踊っている中、どこに本来のよさこいを取り入れているのかを探すのも楽しく、また地方車や衣装を見るのも毎年の楽しみ方となつていきます。

去年、今年とコロナ禍のためよさこい祭りも中止となつてしまい、退屈な夏を過ごすなければなりません。開催される日のために次はどのチームで踊るかを考えたり体力づくりのための筋トレを行ったりと全力で楽しむための準備をしていこうと思っています。



# やわらぎ通信

リゾートビルやわらぎ  
運営理念  
その人らしさを尊重し  
人と人とのつながりを大切に  
明日につなげるケアをめざす

## 「はじめまして」

事務次長  
**小谷 潤**

今年4月より介護老人保健施設リゾートビルやわらぎで勤務させていただいています。高知県西部の黒潮町出身です。国宝として有名な白鷺城がある姫路市の病院で勤務していましたが、やはり生まれ育った「高知で暮らしたい」という思いが募り高知に帰ってきました。

芸西村で働くようになり、景色も良く空気もきれいで、素晴らしい環境だと感じました。また職場で「のうがわるい」と会話しているのを聞き、高知へ帰ってきたのだと実感しました。

これまでずっと高知から出たことがありませんでした。単身で姫路に引っ越したところテレビを観ていたら、高知のカツオ船の番組が放映されていて、若い漁労長が独自の理論で大量の魚をものすこい勢いで一本釣りするという内容でした。無性にカツオが食べたくなってきて、早速近所のスーパーマーケットに行ってみると・・・結局買わずに帰りました。

高知にいる時は、あまり考えてなかったのですが、ネットで検索してみました。すると高知のカツオがおいしい理由が書かれていました。

- ① 漁場が近いため新鮮なうちに水揚げ（日戻り）される。
- ② 高知県民はカツオを多く食べるため、全国から質の良いものが集まってくる。
- ③ 仲買人の目利きが厳しく質の良いものが提供される。このこと



でした。納得。

こちらに帰ってきて魚屋に行ってみると、きれいな厚切りのカツオが並んでいました。食べてみると新鮮でもちちした食感、やはりこれだと感動しました。

近頃、新聞やテレビなどで今年はカツオが豊漁だがコロナの影響で値段が安く漁師さんは苦労していると報じられていました。それを知り少しでも、買い物に行くたびにカツオを買う日々を過ごしています。

令和3年4月の介護報酬改定では「科学的裏付けに基づく介護」の制度が導入され、厚生労働省に介護に関する情報を提出し、それが蓄積され、その結果が介護の現場に返ってきて、それを基に改善を行いより良い介護を提供する仕組みを構築するための制度です。介護保険制度の目的の一つである自立支援・重度化防止の成果がデータとして示されるようになったのです。この制度を有効に活用し、地域の方々が安心して生活できるよう、良い介護を提供できるよう取り組んでいきたいと思えます。

# 「映像で見る摂食嚥下障害の基礎と 食べる訓練」の研修に参加して

機能訓練室 言語聴覚士 岡林 智恵

4月30日、5月20日と施設内にて開かれた「映像で見る摂食嚥下障害の基礎と食べる訓練」の研修に参加させていただきました。多くのやわらぎスタッフが摂食嚥下リハビリテーションに関心を持たれている事が分かり嬉しく思いました。

本研修では頸部聴診について、嚥下造影と対応させながら解説していただきました。頸部聴診は嚥下障害を検出するための簡便なスクリーニング法として一般的に用いられていますが、嚥下動態を把握する上でも有用な方法です。

研修の中で食道入口部開大不全の患者の方が症例として挙げられていました。通常食べ物を飲み込んだとき、舌根部が後退し、咽頭が収縮することで嚥下圧と言われる圧力がかかります。嚥下圧が生じたタイミングに食道入口部が開くことで食べ物は食道に押し下げられます。しかし、本症例は食道入口部が開かず嚥下圧が逃げてしまい、ギョッと絞り出す嚥下音が生じていました。このような症状が起きると、食べ物が食道に移送されずに残り、極めて誤嚥リスクが高い状態になります。そのため安全に食べる事が出来るよう、我々言語聴覚士は多職種の方と相談しながら食材や一口量、姿勢の調整を行っていきます。

食べることは私たちが生きていく上で切り離せない活動であるとともに、人生の最後まで続く大きな楽しみです。やわらぎのご利用者の皆様が最後まで食べる喜びを持ち続けていただけるよう努めていきたいと思えます。



## 3月 ひなまつり会



## 4月 お花見

やわらぎ屋上から庭のお花見



# 春のパンケーキまつり

ご寄付を  
ありがとうございます。  
ございました。

故仙頭一良様ご家族  
よりオムツのご寄付を  
いただきました。



## お知らせ

やわらぎご利用者と職員の  
新型コロナワクチン接種が  
5月、6月をもって終了いた  
しました。



## 無我夢中

33

支援相談員 鍵山直輝

私が無我夢中になっていることは筋トレです。  
高校生の時にバスケットボール部の試合中に膝を怪我してしま  
ったことがきっかけで筋トレを始めました。私の父がもともと筋  
トレを趣味としていたこともあって、父の実家にはトレーニング始め  
ての器具がそろった10畳ほどの部屋があり、気軽にトレーニング始め  
やすい環境にいたことも夢中になった要因の一つだと思っています。

現在は仕事終わりや休日に父の実家や知り合いが経営している  
個人ジムで感染対策をした上でトレーニングを行っています。上  
がらなかった重量もいつの間にか上がるようになっていたりする  
ことが、続けて良かったと思う瞬間です。ジム仲間の体型が変わ  
っていくのを見ると自分のモチベーションも上がっていきます。

最近健康志向の人が増えて  
おり、フィットネスブームと言  
われています。このブームによ  
ってトレーニングを生活の一部  
としている人が増えてきてい  
るようです。YouTube等で  
自宅で出来る様々なトレーニ  
ング方法やダイエット方法など  
見ることができるので自分に合  
った方法を見つけることが出来  
るのではないかと思います。ぜ  
ひ、皆さんも始めてみてはい  
かがでしょうか？

